

2-3 年齢3区分別人口推移

(人)

	総数	年少人口 (15歳未満人口)	生産年齢人口 (15～64歳人口)	老年人口 (65歳以上人口)	年齢不詳
平成2年	122,850	22,676	80,691	19,481	2
平成7年	122,536	20,122	78,344	24,070	-
平成12年	121,614	18,087	75,536	27,991	-
平成17年	117,577	16,058	71,028	30,491	-
平成22年	111,151	14,123	65,190	31,835	3
平成27年	106,244	12,168	59,168	34,518	390
令和2年	100,273	10,305	53,031	36,091	846

資料：国勢調査 基準日：各年10月1日

年齢3区分別人口推移（年齢不詳を除く）

(人)



総人口を、15歳未満の年少人口、15歳から64歳の生産年齢人口、65歳以上の老年人口の3つに区分し、その推移を見ると、年少人口について、令和2年は10,305人で、平成2年と比較すると、0.45倍の12,371人の減少となっている。生産年齢人口について、令和2年は53,031人で、平成2年と比較すると、0.66倍の27,660人の減少となっている。老年人口について、令和2年は、36,091人で、平成2年と比較すると、1.85倍の16,610人の増加となっている。